

令和4年度 第3回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：令和5年3月28日（水）14時30分～15時15分

場 所：鹿島市役所 5階 大会議室

参加者：別紙のとおり

司会進行：企画財政課長

1. 開会 企画財政課長

2. 会長のあいさつ

3. 協議

(1) 市内公共道路線の再編（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

中西委員：変更後は利便性が上がりますか。

事務局：要望として、買い物帰りのバス停から自宅までが遠いといった声もありますので、今回自宅までの送迎ができるような形になるので利便性は向上できていると思っています。

中西委員：奥山線の竹ノ木庭や平仁田開拓はどうなりますか。車が行くということですか。

事務局：はい。自宅までお迎えに行き、指定する4つのバス停のいずれかで降りることができます。帰りも指定のバス停から自宅まで送るような形になります。自宅までタクシーがいきます。

中西委員：そちらを利用するほうが普通のバスより良いということですね。

事務局：今までバスを利用されていた方からすると、事前に予約しなければいけないため慣れるまで時間がかかるかと思っています。自宅までの送迎ができるので、地区の説明会時にはそこが良くなるかと話していきたいと考えています。

会 長：これは行きの予約をして、帰りも予約しないといけないですか。

事務局：現行のデマンドタクシーですと、朝の1・2便までは、前日の夕方5時まで、残りの3～5便までが朝の9時までに予約をしていただくこととなります。今回も同様に連絡していただくような形になります。

中西委員：前回までは平仁田開拓は対象ではなかったですが、今回は解消されたということですね。

事務局：今まではバスが走っていた地区のみ対象で、元々バスがなかったところは対象ではなかったんですが、今回完全にバスが走らなくなるということで対象にしています。

承認

(2) 交通空白地へのデマンド型導入モデル地区選定（案）について

【事務局から説明】

【質疑・応答】

幸田委員：念のため確認です。今回、今年の10月から2～3ヶ月程度、実証運行という形でまず導入されることと認識しております。運賃について、今回は0円で実証運行をやるということですが、これはあくまで、道路運送法上の許可登録を得ない形ではなくて、その4条の乗り合い事業として行われるものという認識でよろしいでしょうか？ 仮に、道路運送法上の許可登録を得ない形でされるとなると、今回のケースだとあくまで市の事業として市が保有する車を使って運行だけは他に委託するという形であれば、道路運送法上の許可登録をせずに行うことはできますけれども、今説明の中で既存のタクシー車両を回せるかどうかという説明があったので、私としては、これは0円ではあるけれども、あくまで道路運送法でも、乗合事業としてされるものなのかなとは思っております。

山本委員：認可を受けなくてはいけないでしょうか。

幸田委員：導入する地区が営業区域を持たれてないのであれば事業計画の変更をしていただくか、実証運行ということであれば21条の許可という形でやるという2つの方法がございます。

山本委員：営業区域です。

幸田委員：そしたら事業計画の変更もしくは道路運送法上の21条、期間限定での許可というやり方をさせていただくことになります。

山本委員：実はちょっと違う地区になるんですが、嬉野地区で、終わりましたけど、そこは認可申請していないんですが。

幸田委員：そこはあくまで自治体がタクシーを借り上げて、タクシー事業としてされているんだと思います。今回のお話でいうとおそらく不特定多数の方を乗せることになるので、タクシー事業という整理は難しいかと思います。

事務局：実証運行の方法について、許可登録の部分に関しては、佐賀運輸支局と相談をしながら、10月までの運行に間に合わせたいと思います。

中西委員：浜地区の指定バス停で肥前浜駅とありますが、これは従来あるバス停ですか。駅まで入ってきてほしいと意見がありますが。県道沿いにバス停がありますよね。

事務局：肥前浜駅の中までタクシーで入ろうと思っています。

中西委員：大きな変更で、従来とは違うのでしっかり説明してください。

事務局：地区説明会の際にはしっかりとその辺りを説明したいと思います。

承認

事務局：議事は終わりましたが、この協議会において可決された事項で、行政庁の指導等を含め、字句など軽微な修正が必要となった場合は、会長一任によりこれをなすことができるものとする付帯決議の承認をお願いします。

承認

## 7. その他

### ・さがコミュニティ交通エール奨励金の紹介

佐賀県さが創生推進課から来年度事業の説明。

利便性の向上や利用促進に取り組んでいる市町へ奨励金を交付する。具体的には運賃の100円以上を行うことなどが対象。今後具体的な手引きを送付するので、活用検討をしてほしい。

### ・祐徳バスセンター解体について

祐徳自動車の新社屋が9月には完成。10月から祐徳バスセンターの解体が始まるため、仮のバス停を設置することになる。位置については現在協議中。

### ・次年度委員の確認

令和4年～5年までの任期でお願いしているが、人事異動の関係で委員の変更がある場合は、4月21日（金）までに推薦書を事務局まで提出ください。

### ・鹿島酒蔵ツーリズムの報告

・グリーンスローモビリティは大変好評だった。

・特急の本数が減り、自家用車で来た方が多かったように感じる。無料のシャトルバスは満杯の便もあったが、比較的余裕があった。祐徳神社から浜までいく便は非常に多く、続行便も出した。

・イベントに合わせ臨時列車を2本、往復で4本走らせた。発売開始から予約が満席、自由席も当日の方で満員になった。臨時列車の時間帯を来年は考えたい。26日にJRウォーキングを行い、440名の参加があった。天気良ければもう少し多かったのではと思う。

・祐徳神社の駐車場がメインになっていることがしっかり周知されていたと感じる。中まで入る車がほとんどなかった。JRやバスで来るような仕掛けづくりが必要。

・矢野酒造前で行うおまつり市は例年よりも人通りが少なかった。今までは、鹿島駅で降りて、まずおまつり市に来られていた。天気とJRの減便が影響しているのではと思う。

(次回開催予定) 令和5年6月開催予定

## 8. 閉 会 企画財政課長